

監督・競技者注意事項

1 規 則

本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

- (1) 隣接の補助競技場を使用する。
- (2) すべての練習は、審判員及び係の指示によって行うものとするが、監督、競技者も危険防止を十分留意する。また、主競技場以外での砲丸投等々の練習は禁止する。
- (3) 雨天練習場として、体育館内を解放するが、ジョギングのみで一方通行とする。
- (4) 砲丸投の投擲物を利用した練習は、招集完了後フィールド内に移動し、指定された場所において大会主催者が準備したもので練習を可とする。また、競技開始40分前からは、ピットでの投擲練習を可とする。
- (5) スパイクを使用した練習は、100・200m予選・決勝およびハードル競技中のみ、バックストレートを開放する。ただし、バトン以外の練習器具の持ち込みは禁止とする。
- (6) 主競技場での練習は、8時00まで可とする。

3 競技場について

本競技場は全天候舗装であるので、競技規則第143条④を適用する。したがって走路の保全と競技者の安全のため靴底から外部に出ているスパイクの長さは9mm（走高跳12mm）を超えてはならない。

靴底の高さは走高跳・走幅跳は13mm以内、走高跳踵の高さは19mm以内とする。その他の種目の厚さ と高さは自由である。

4 招集について

- (1) 競技者は招集完了時刻5分前に競技者控え所(第1ゲート)に集合し、競技者係の点呼とユニフォーム・ナンバーカード及びスパイクのピンの長さの確認を受け、待機する。
- (2) 招集は、本人が招集所において招集を受ける。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は競技者係及び当該審判主任に申し出て、了解を受ける。この場合は、代理人を認める。
- (3) 招集に遅れた場合は、棄権とみなし出場を許さない。（尚、事前に棄権することが明らかなときは招集完了時刻までに招集所へ申し出る。その際、代理人も認める。）
- (4) 四種競技出場者は最初の種目(男子110mH、女子100mH)は、招集所で点呼を受け、その他の種目については現地にて、混成競技係の点呼を受ける。もしも2種目目以降を棄権する際は、招集所に申し出る。
- (5) 招集時刻は下記のとおりである。時間は競技開始時刻を基準とする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	25分前	15分前
フィールド競技	高・幅	50分前
	棒高跳	70分前
	砲丸投	60分前

*四種競技の2種目目以降の招集は現地で行う。

5 入・退場について

競技者は招集完了と同時に競技場へ誘導されるので、係員の指示に従い入場し、競技終了後も指示に従い規律ある行動をとること。

6 競技方法について

- (1) スタート合図はイングリッシュコマンド(On your marks:オン・ユア・マークス、Set:セット)で行う。不正スタートは1回で失格とする。四種競技は2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
- (2) トラック競技予選の走路順、フィールド競技試技順序はプログラム記載の上から下の順序にする。
- (3) 決勝の走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。
- (4) リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を1部作成し、招集完了1時間前に招集所競技

者係に提出する。（リレーオーダー用紙は、招集所に用意する）

- (5) 1500mについては、すべて2組タイムレースとする。
- (6) 3000mについては、グループスタートを実施する。
- (7) 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。ただし、諸条件(悪天候)などにより、審判長の判断で高さを変更することもある。

	学 年	練 習	競 技
男子走高	1 年	1m35	1m40～1m45～1m50～1m55～1m60～1m65～
〃	2 年	1m45	1m50～1m55～1m60～1m65～1m70～1m75～1m80～1m85～1m88～
〃	3 年	1m50	1m55～1m60～1m65～1m70～1m75～1m80～1m85～1m88～
女子走高	1 年	1m20	1m25～1m30～1m35～1m40～1m45～1m48～1m51～
〃	2 年	1m25	1m30～1m35～1m40～1m45～1m48～1m51～1m54～1m57～1m60～
〃	3 年	1m25	1m30～1m35～1m40～1m45～1m48～1m51～1m54～1m57～1m60～
棒 高	2・3年	2m40・3m50	2m50～2m60～2m70～2m80～2m90～3m00～3m10～
四種 男 共 通		1m35・1m50	1m40～1m45～1m50～1m55～1m60～1m65～1m68～1m71～
四種 女 共 通		1m15・1m30	1m20～1m25～1m30～1m35～1m40～1m43～1m46～1m49～1m52～

- ①最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。ただし、残っている競技者が2人以上でも、全員の同意があれば第181条4(a)(b)を適応しないで、県記録を超える高さにバーを上げることができる。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7 表彰について

各種目1位から8位まで賞状(リレーは3位まで個人4枚を含む)を授与する。男女別総合優勝校には優勝旗を男女別学校総合並びに地区総合1位から3位まで賞状を授与する。

8 用器具について

用器具は、競技場のものを使用する。ただし、棒高跳のポールは招集後に現地で検査を行う。合格したものに関り個人所有のものを使用することを認めるが、競技進行中跳躍審判員が随時点検する。

9 開会式について

熱中症対策により、代表者（前年度優勝旗返還者・選手宣誓者）により行う。

10 その他

- (1) やむを得ず棄権するときは、競技者係に申し出る。
- (2) 医務室は、スタンド下に置く。
- (3) 更衣については、男女ともメインスタンド更衣室を使用してもよい。
- (4) 盗難防止については、各自注意すること。不審な行動をする方を見かけたら、近くの競技役員まで知らせること。
- (5) 競技場内は、競技者、役員、補助員以外は立ち入らないこと。
- (6) メインスタンドには、スパイクで入らないこと。
- (7) 応援は、競技運営に支障を来したり、観客の邪魔にならないようスタンドで行うこと。
- (8) ごみは、持ち帰ること。
- (9) 商社名等のついたものは競技場内に持ち込まないこと。（バックは25cm²以内は可）
- (10) ピットについて
 - 走 高 跳 Aピット…第1コーナー寄り Bピット…第3コーナー寄り
 - 走 幅 跳 Aピット…メインスタンド寄り Bピット…トラック寄り
 - 砲 丸 投 Aピット…第1コーナー寄り Bピット…第4コーナー寄り
- (11) 各校のベンチは、メインスタンド裏及び芝生スタンド、補助競技場周辺、本競技場外周周辺とする。
- (12) 横断幕・のぼりの設置は指定された場所のみとし、スタンドの前面の設置は禁止とする。
- (13) 各校のリレーで使用するスタート用のマークは、白色のテープを使用すること。